

～共通事項～

案

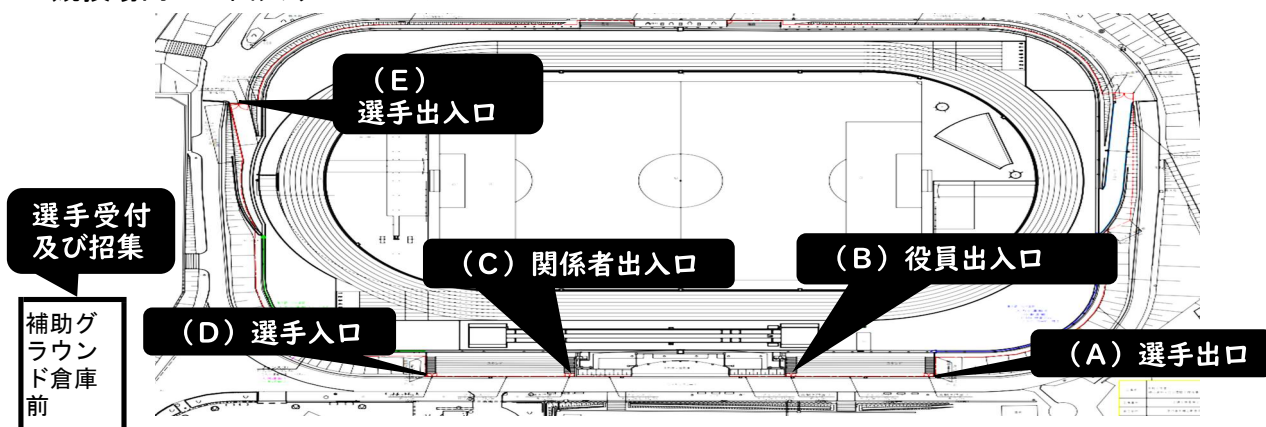
当協会は、(公財)日本陸上競技連盟の「陸上競技活動再開についてのガイダンス『競技会開催について』」に沿って競技会を運営する。そのため、下記の資料に基づきこのマニュアルを作成した。また、競技者・関係者は、個人情報の取得・利用・提供に同意することにより本大会に参加することができるものとする。

- ①【陸上競技活動再開のガイダンス】概要 (2020年6月11日)
- ②【第1版改訂】日常における活動再開について (2020年6月25日)
- ③【第2版】競技会開催について (2020年8月11日)
- ④【第1版改訂】競技会開催の基本情報と前提条件の確認 (提出用チェックリスト) (2020年6月25日)
- ⑤【大会前：提出用】体調管理表・症状チェック表 (2020年8月11日)
- ⑥【大会後：自己管理用】体調管理表・症状チェック表 (2020年6月11日)

1 競技会開催にあたっての基本注意事項

- ①3 密を回避 (密閉空間・密集場所・密接場面が生じる場所を徹底的に解消する)
- ② 感染症対策 (手を清潔に保つとともに、マスクを着用する)
  - ※マスクの着用については、状況によって判断する。息苦しさを感じた場合はマスクを外し、水分補給や休憩をとるなど無理をしない。
- ③ 主催者として行うこと (主催者としての考え方、責任所在を含む)
  - 1) 開催までの事前準備…競技会開催 2 週間前までに「④競技会開催の基本情報と前提条件の確認 (提出用チェックリスト)」を京都陸上競技協会に提出するとともに、感染症予防対策や感染者が発生した場合の行動計画を本マニュアルにとりまとめるものとする。  
また、予め競技会開催地自治体および医療機関の協力を得ておくとともに、3 密の解消と感染者発生の場合に備え、全ての人の連絡先把握のため準備を行う。
  - 2) 開催時の対応…多くの人々が頻りに触れる会場内の箇所を清掃・消毒し、環境を清潔に保つ。運動時を除きマスクの着用を義務とし、マスクをしていない人に対し注意を促す。
  - 3) 当分の間、無観客にて開催し、開閉会式も実施しない。
  - 4) 主催者は、競技会に関わる全ての人に対して傷害保険に加入する。
  - 5) 主催者は、競技会に関わるすべての人の感染に対するいかなる責任も負わない。
- ④ 競技会に関わる全ての人 (競技者・関係者・役員・観客・メディアなど) がすべきこと
  - 1) 3 密を避けて行動することを徹底する。
  - 2) 体調管理を徹底する。
  - 3) 競技会終了後、2 週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、診療所等に相談後、必ず大会主催者に報告する。
  - 4) 新型コロナウイルス接触確認アプリ等を積極的に活用する。
- ⑤ 感染症対策室の設置
  - 1) 北丹陸上競技協会の各主催競技会における感染症予防対策や、感染者、濃厚接触者、感染疑い者が発生した際の意思決定及びその対応を行うため、感染症対策室を設置する。その構成は、会長、理事長、危機管理担当副理事長 (行政関係者) 及び保健師資格を有する本会審判員の4名とし、管内医療機関 (医師)、京都府保健衛生機関とも連携する。なお、競技会開催中に発症者が特定・確認された場合は、競技会をその時点で中断・中止し、このマニュアルに基づき処置対応する。

2 競技場内への出入りについて



### 3 【大会前：提出用】体調管理チェックシート



#### 【大会前／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（第2版8月11日改訂）

本チェックシートは各種大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。本チェックシートに記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、出場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要範囲で保健所等に提供することがあります。  個人情報の取得・利用・提供に同意する

※大会1週間前から記入し、大会当日、主催者の指示に従い指定の場所に提出すること

※該当しない場合は✔を入れ、該当する場合は○を記入すること（体温0.1℃単位の数字を記入）

No.	チェックリスト	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1	のどの痛みがある													
2	咳（せき）が出る													
3	痰（たん）がでたり、からんだりする													
4	鼻水（はなみず）、鼻づまりがある ※アレルギーを除く													
5	頭が痛い													
6	体のだるさなどがある													
7	発熱の症状がある													
8	息苦しさがある													
9	味覚異常(味がしない)													
10	嗅覚異常(匂いがしない)													
11	体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
12	薬剤の服用(解熱剤を含む上記症状を緩和させる薬剤)													

氏名 \_\_\_\_\_

所属（学校名など） \_\_\_\_\_

連絡先（電話番号） \_\_\_\_\_

※参加者が未成年の場合

保護者氏名 \_\_\_\_\_

### 4 【大会後：自己管理用】体調管理チェックシート



#### 【大会後／個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート

※大会終了後2週間は健康チェックをすること。

※該当しない場合は✔を入れ、該当する場合は○を記入すること（体温0.1℃単位の数字を記入）

No.	チェックリスト	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1	のどの痛みがある													
2	咳（せき）が出る													
3	痰（たん）がでたり、からんだりする													
4	鼻水、鼻づまりがある ※アレルギーを除く													
5	頭が痛い													
6	体のだるさなどがある													
7	発熱の症状がある													
8	息苦しさがある													
9	味覚異常(味がしない)													
10	嗅覚異常(匂いがしない)													
11	体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃

※症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの保健所、診療所等に報告してください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに報告してください。

※保健所、診療所等に相談後、必ず大会主催者に報告してください。

## 5 基本事項と当日の流れ

- ① 無観客開催とする（応援の保護者等の来場はお断りします）。陸上競技場メインスタンド（競技場フェンス内）への入場は、競技者及びチーム関係者（監督、顧問、マネージャー）、競技役員、補助員及び式典関係者のみとし、入場時にIDカードの提示を求める。またチーム関係者は、所属が証明できるものを提示してもらう場合がある。
- ② IDカードは受付にて、体調管理チェックシート提出後に交付する。（※チーム・学校の場合は代表者がまとめて提出してもよい）
- ③ 入場口（退場口）は、メインスタンド東側（A、B）と西側（C、D）、及び競技場西側スロープ入口ゲート（E）の5か所とし、それ以外の出入口は使用しない。また、B、C、Eの入退口は、入場と退場それぞれコーンで区切る。入場口では、消毒液配置と忘れた人へのマスク配付を行う。受付担当者はマスクのほか、フェイスシールドを着用する。
- ④ メインスタンドはIDカード所有者に開放するが、周囲とできれば2m（最低1m）の距離をとること。大きな声での応援、集団での応援は禁止する。またメインスタンドにテント、のぼり、横断幕の設置を禁止する。
- ⑤ 招集は補助グラウンド倉庫前付近で第1招集（スタートリストに○をつける）のあと現地にて2次招集をうける。トラック競技の場合は第1招集の際、各自で腰ナンバーを取る。
- ⑥ 表彰1位のみメインスタンド下にて行う。2位3位は各自が大会本部に取りに来ること。
- ⑦ 記録発表はWEB上で行う。プログラム及びスタンド各所に掲示するQRコードよりURLを取得できる。
- ⑧ 競技者は自己の競技終了後は速やかに退場する。
- ⑨ 競技者は、マスク、タオル、衣類入れのビニール袋の持参を必須とする。
- ⑩ 常に、手指消毒、手洗い、洗顔など励行すること。熱中症にも十分注意し、水分の持参、日陰での適度な休憩を心がけること。

### <帰宅後の注意>

- ① 2週間以内は検温を実施し、発熱や体調に異常があれば下記に連絡すること  
帰国者・接触者相談センター 075-414-4726  
北丹陸上競技協会 高橋尚義 090-4497-5422

### <競技者・競技役員への周知事項>

- ① 体調不良の場合は参加を辞退してください。
- ② 当日受付時には、体調管理チェックシートを提出ください。提出しない場合は、競技場内への入場はできません。また競技者は出場を認めません。ただし、検温を受検し37度未満であれば、入場・出場を認める場合があります。
- ③ 各個人でマスクとハンドタオルを、また競技者は、競技出場時に脱衣した衣類入れポリ袋を持参してください。
- ④ 会場ではこまめな手洗い、手指消毒、運動後の洗顔を励行してください。
- ⑤ 会場では他の参加者や、スタッフとの距離を確保してください。
- ⑥ 大きな声での会話、応援はしないでください。
- ⑦ 招集、記録発表は、当日の指示やプログラム、掲示、WEBなどで確認してください。
- ⑧ 会場への来場は、競技時間に合わせるなど、時差来場にご協力ください。
- ⑨ 保護者などの応援来場はご遠慮ください。また競技終了後は速やかに退場ください。
- ⑩ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は速やかに濃厚接触者の有無などを報告すること

### <競技外の対策>

- ① 写真判定室などは喚起のため常時窓や出入口を開放しておく。
- ② 大声での応援は禁止する。スタンドにおいても適度な距離とマスク着用を呼び掛ける。
- ③ 定期的（1時間ごと）にトイレやドアノブなどの消毒をする。機械器具等の供用を避け、共用する場合は手指、機器を消毒する。
- ④ メインスタンド下大会本部前は、役員以外の通行を禁止する。
- ⑤ ごみは各自で持ち帰るよう呼び掛ける
- ⑥ 事前事後のミーティングや反省会は自粛するよう要請する。
- ⑦ 競技終了後は速やかに退場、帰宅し、手洗い、うがい、洗顔、消毒するよう呼びかける。

## 6 感染者、濃厚接触者、感染疑い者が発生した際の意思決定及びその対策

### ①感染症対策室の設置

- 1) 北丹陸上競技協会の各主催競技会における感染症予防対策や、感染者、濃厚接触者、感染疑い者が発生した際の意思決定及びその対応を行うため、感染症対策室を設置する。
- 2) 感染症対策室の構成は、会長、理事長、危機管理担当副理事長（行政関係者）及び保健師資格を有する本会審判員の4名とし、管内医療機関（医師）、京都府保健衛生機関とも連携する。
- 3) 競技会開催中に発症者が特定・確認された場合は、感染症対策室により、その時点で競技会の中断・中止の意思決定を行うとともに、行政及び日本陸連、京都陸協との窓口として機能し、かつ、このマニュアルに基づき感染症対策を処置対応する司令塔となる。

### ②感染者への対応

大会開催日の3週間前の時点、もしくはそれ以降にPCR検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合、当該選手、チームは参加を辞退するまたは、主催者による出場権利の取り消しを行う。

### ③濃厚接触者への対応

保健所から濃厚接触者と認められた場合、14日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない選手であれば、出場を認める。  
（「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」厚生労働省2020年5月25日）

### ④感染疑い者への対応

大会開催3週間前の時点、もしくはそれ以降に感染疑い症状が発症していた場合、インフルエンザ等の新型コロナウイルス以外の感染症のリスクもある為、原則当該選手は参加辞退を促す、または、主催者による出場権利の取り消しを行う。  
但し、以下の両方の条件を満たしている場合、大会への出場を認める場合がある。

- 1) 感染疑い症状の発症後に少なくとも8日が経過している。  
（8日が経過している：発症日を0日として8日間のこと）
- 2) 薬剤を服用していない状態で、解熱後および症状消失後に少なくとも3日が経過している。  
（3日が経過している：解熱日・症状消失日を0日として3日間のこと）  
「発熱や風邪症状を認める者の職場復帰の目安」

一般社団法人日本渡航医学会・公益社団法人日本産業衛生学会

<感染疑い症状とは>

- ▼息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ▼重症化しやすい方（高齢者、糖尿病・心不全・呼吸器疾患（COPD等）等基礎疾患がある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- ▼上記以外の方で、「発熱や咳など比較的軽い風邪の症状」が続く場合（症状が4日以上続く場合は必ず、「強い症状」と思う場合にはすぐに相談を。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様）

「新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安」厚生労働省（2020年5月11日）

### ⑤競技実施中に、感染者等が発生した場合の対応

- 1) 競技会を中止するとともに、帰国者・接触者相談センターに連絡し、感染者等の状況を伝え、その後は帰国者・接触者相談センターの指示に従う。
- 2) 感染者等の名簿を確認し提出に備えるとともに、他の競技会参加者名簿の情報提供はセンターの指示に従う。

### ⑥競技会当日受付での対応

- 1) 競技会当日受付で、体調管理チェックシートを提出受けた際は、37度以上または平素の体温より高熱な状態が少なくとも3日続いている場合、検温を行い、結果37度以上であったときは、参加（出席）を辞退してもらう（IDカードは交付しない）
- 2) 体調管理チェックシートは、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、感染症対策室において1月間保存する。（保管期限終了後は適正速やかに廃棄し、廃棄した証を保管する）